

# “愛のむち”の言葉に甘えるな。 暴力の伴う指導は全て「体罰」。

## 体罰のない指導法

- 生徒の練習に対するやる気が足りないときの指導法
  - ① チーム全体の目標が高すぎないか見直す
  - ② 選手一人一人の目標を設定させる
  - ③ 選手一人一人の練習課題を自覚させる
  - ④ 全体練習の他に、個人別課題練習の時間を設定する
  - ⑤ レベル別又は課題別に選手をグルーピングして指導する
  - ⑥ ローテーション式練習を導入し、常に集中して練習できるようにする
  - ⑦ 生徒の体力や身体的特徴に合った打法・プレースタイルを教える
  - ⑧ 生徒の課題克服のために、生徒が理解しやすい説明を短い言葉でする
  - ⑨ “この練習をすれば強くなる”と生徒に思わせる練習メニューを作成する
  - ⑩ 生徒の体力・集中力のレベルを考え、適度な休憩時間を与える
  - ⑪ 全体の士気が下がってきたときに、励ましの言葉をお互いに掛けさせる
  - ⑫ 選手を集合させ、気合いを入れるように叱咤する
  - ⑬ やる気のない状態が続くときは、コート、グラウンドから出して見学させる
  - ⑭ 技量が合っても、やる気が持続しない選手は試合で使わないことを予告する
  - ⑮ 技量が合っても、やる気が持続しない選手は試合で使わない
  
- 練習や試合での生徒の態度が悪いときの指導法
  - ① 事前に、自分の理想とするスポーツマンの姿を繰り返し語る
  - ② 「部員心得」を作成して選手に配布し、守るように指導しておく
  - ③ 悪い態度をとった選手を、そのままの状態で見学する。
  - ④ 悪い態度をとった選手を、呼んで注意する。
  - ⑤ コート、グラウンドの練習から出して見学させる
  - ⑥ コート、グラウンドの外でペナルティのトレーニングをさせる
  - ⑦ 態度の悪い選手は試合で使わないことを予告する
  - ⑧ 態度の悪い選手は試合で使わない

クラブ活動は教育の場である。

“勝利のためなら何でもあり”でなく、  
人間性の育成を重視する。

指導者は、「絶対的優位の上下関係」に  
酔うことなく、選手を対等な人間  
として常に考えて発言、指導すること。